

別院子ども会



～夏のお泊まり会の様子～ みんな元気いっぱいの笑顔です！

旭川別院子ども会では、年に3回(春3月・夏7月・冬12月)お泊まり会を開催しています。春は当日まで秘密のお楽しみタイム、夏は花火や流しそうめん、冬はお餅つき等を企画しています。子ども会のご案内をご希望の方は、旭川別院までご連絡をお願いいたします。

旭川別院だより

真宗大谷派旭川別院

旭川別院だより

春号

2026

発行所 真宗大谷派 旭川別院

輪番 福田 大

〒070-0030 旭川市宮下2丁目

TEL.0166-22-2409

FAX.0166-22-2411

■印刷:植平印刷株式会社

■旭川別院ホームページ

旭川別院 | 検索

しんらん誕生会

2026年5月9日～10日

詳細は、同封のチラシ又は別院ホームページをご覧ください。



■五月十日
フリーマーケット出店者大募集
十一時～十六時頃まで

【出店料なし】【初めての方大歓迎】
【区画は基本2M×2M】
詳しい内容や申込は、シモティイ又はお寺のホームページ・事務所までお願いいたします。

■五月十日
門徒初参式参加者募集中
九時三〇分～十一時三〇分頃
様々なご縁で、ご門徒になられた皆さん。ぜひご家族揃って年に一度はお寺にお参りしましょう。普段入ることができないところに、特別に探訪する内容もありますのでぜひご参加ください。
詳細は、電話又はお寺のホームページ・事務所までお願いいたします。

■五月十日
子ども初参式参加者募集中
十一時三〇分～十二時頃
初参式とは「いのち」を授かりこの世に生まれた事の喜び・尊さを感じ、ご家族の皆さんでお寺の本堂にお参りをする行事です。
参加いただいたお子様に記念品(お菓子詰合せ)があります。お待ちしております。
詳細は、電話又はお寺のホームページ・事務所までお願いいたします。

法座・行事案内予定

<p>1日 午後7時 公開学習会 泉山 明光氏</p> <p>7日 午後1時 群萌の会 泉山 明光氏</p> <p>13日 午後1時 初心の集い 輪番・列座</p> <p>16日 午後1時 同朋の会 輪番・列座</p> <p>18日 午後1時 婦人会 列座</p> <p>28日 午後7時 壮年の集い 列座</p> <p>未定 午後1時 定例法座 野原 隆導氏</p>	<p>1日 午後7時 公開学習会 泉山 明光氏</p> <p>7日 午後1時 群萌の会 泉山 明光氏</p> <p>13日 午後1時 初心の集い 輪番・列座</p> <p>16日 午後1時 同朋の会 輪番・列座</p> <p>18日 午後1時 婦人会 列座</p> <p>28日 午後7時 壮年の集い 列座</p> <p>未定 午後1時 定例法座 野原 隆導氏</p>	<p>1日 午後7時 公開学習会 泉山 明光氏</p> <p>7日 午後1時 群萌の会 泉山 明光氏</p> <p>13日 午後1時 初心の集い 輪番・列座</p> <p>16日 午後1時 同朋の会 輪番・列座</p> <p>18日 午後1時 婦人会 列座</p> <p>28日 午後7時 壮年の集い 列座</p> <p>未定 午後1時 定例法座 野原 隆導氏</p>	<p>1日 午後7時 公開学習会 泉山 明光氏</p> <p>7日 午後1時 群萌の会 泉山 明光氏</p> <p>13日 午後1時 初心の集い 輪番・列座</p> <p>16日 午後1時 同朋の会 輪番・列座</p> <p>18日 午後1時 婦人会 列座</p> <p>28日 午後7時 壮年の集い 列座</p> <p>未定 午後1時 定例法座 野原 隆導氏</p>	<p>1日 午後7時 公開学習会 泉山 明光氏</p> <p>7日 午後1時 群萌の会 泉山 明光氏</p> <p>13日 午後1時 初心の集い 輪番・列座</p> <p>16日 午後1時 同朋の会 輪番・列座</p> <p>18日 午後1時 婦人会 列座</p> <p>28日 午後7時 壮年の集い 列座</p> <p>未定 午後1時 定例法座 野原 隆導氏</p>	<p>1日 午後7時 公開学習会 泉山 明光氏</p> <p>7日 午後1時 群萌の会 泉山 明光氏</p> <p>13日 午後1時 初心の集い 輪番・列座</p> <p>16日 午後1時 同朋の会 輪番・列座</p> <p>18日 午後1時 婦人会 列座</p> <p>28日 午後7時 壮年の集い 列座</p> <p>未定 午後1時 定例法座 野原 隆導氏</p>	<p>1日 午後7時 公開学習会 泉山 明光氏</p> <p>7日 午後1時 群萌の会 泉山 明光氏</p> <p>13日 午後1時 初心の集い 輪番・列座</p> <p>16日 午後1時 同朋の会 輪番・列座</p> <p>18日 午後1時 婦人会 列座</p> <p>28日 午後7時 壮年の集い 列座</p> <p>未定 午後1時 定例法座 野原 隆導氏</p>	<p>1日 午後7時 公開学習会 泉山 明光氏</p> <p>7日 午後1時 群萌の会 泉山 明光氏</p> <p>13日 午後1時 初心の集い 輪番・列座</p> <p>16日 午後1時 同朋の会 輪番・列座</p> <p>18日 午後1時 婦人会 列座</p> <p>28日 午後7時 壮年の集い 列座</p> <p>未定 午後1時 定例法座 野原 隆導氏</p>	<p>1日 午後7時 公開学習会 泉山 明光氏</p> <p>7日 午後1時 群萌の会 泉山 明光氏</p> <p>13日 午後1時 初心の集い 輪番・列座</p> <p>16日 午後1時 同朋の会 輪番・列座</p> <p>18日 午後1時 婦人会 列座</p> <p>28日 午後7時 壮年の集い 列座</p> <p>未定 午後1時 定例法座 野原 隆導氏</p>	<p>1日 午後7時 公開学習会 泉山 明光氏</p> <p>7日 午後1時 群萌の会 泉山 明光氏</p> <p>13日 午後1時 初心の集い 輪番・列座</p> <p>16日 午後1時 同朋の会 輪番・列座</p> <p>18日 午後1時 婦人会 列座</p> <p>28日 午後7時 壮年の集い 列座</p> <p>未定 午後1時 定例法座 野原 隆導氏</p>	<p>1日 午後7時 公開学習会 泉山 明光氏</p> <p>7日 午後1時 群萌の会 泉山 明光氏</p> <p>13日 午後1時 初心の集い 輪番・列座</p> <p>16日 午後1時 同朋の会 輪番・列座</p> <p>18日 午後1時 婦人会 列座</p> <p>28日 午後7時 壮年の集い 列座</p> <p>未定 午後1時 定例法座 野原 隆導氏</p>	<p>1日 午後7時 公開学習会 泉山 明光氏</p> <p>7日 午後1時 群萌の会 泉山 明光氏</p> <p>13日 午後1時 初心の集い 輪番・列座</p> <p>16日 午後1時 同朋の会 輪番・列座</p> <p>18日 午後1時 婦人会 列座</p> <p>28日 午後7時 壮年の集い 列座</p> <p>未定 午後1時 定例法座 野原 隆導氏</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

聞法とは

真宗の教えに照らされる生活



士別市温根別町 教證寺住職 寺澤 三郎

一、聞くことの難しさ

今から二十八年前、二十二歳だった私に七十代の総代さんが次のことをお話しくださいました。「あなたの祖父・先代の住職さんはお通夜での法話の際、五十年間同じ内容の法話をされたのだよ」と。そして、その法話の内容を覚えてくださいました。「最初に「散る桜 残る桜も散る桜(意味内容・今どんなに美しくきれいに咲いている桜もいつかは必ず散ってしまう。私たちが今この時を謳歌していても、いつか死を迎える時がやってくる)」という言葉を紹介してから仏教の「無常の教え」を丁寧に説いてくれたんだよ」と。

続けて、その法話をその方がどのようなに聞いてきたかについてお話しくださいました。「健康で順調だった二十代の私は、普段意識が向かないのちの移ろいを考えさせてくれる大切な法話だと聞いていた。その後は、何度も聞くことでわかる話になり、「またこの法話か」とわかつたつもりで聞けなくなり、「どうせあの法話だろう」と耳を閉じるようになった。でも今、老病死の只中を生きっていると実感する年齢を迎えて、あの法話が聞こえてくるんだよ。先代住職さんが五十年間かけて、私へ「無常の道理から共に教えられよう」と呼びかけ続けてくれたのだと思っている。だから若さん、仏教の学びで大切だと思うことは何度でも繰り返して法話をしてほしい」とおっしゃられたのです。今そのことを思い返し、次の経言を想起しました。

教語開導すれども、之を信する者は少なし

『真宗聖典第二版』六五頁・初版六一頁(意味・教えの言葉によって、道理に目と耳と心が開かれ導かれるけれども、これを信じ続けて生きていくものは少ない)
人間が教えを聞き大切なことにならずきつても、身についたつもりになり、その課題から遠ざかって生きようとする姿を教えられます。同時に繰り返し、繰り返しの聞法の大切さを思います。

二、凡夫の顛倒

願わくは深く無常を念じて、徒に後悔を貽すこと勿れ
『真宗聖典第二版』二〇一頁・初版一八四頁(意味・どうか無常という事実を深く心にとどめて、あとに悔いをのこすような生き方だけはしないでほしい)

「無常」とは、一切のものは、生じたり変化したり滅したりして、「常」(一定のまま)ではないという仏の智慧の言葉です。この教えに照らされると、一切のものは、少しの間だけでも変化や滅することなく「常」(一定のまま)だろーうと思ひ込んでしまう私に気づかされます。このように、真実(＝本当)ではないことを、間違つて真実だと思ひ込む人間の姿を「凡夫の顛倒」と言います。
「当たり前前」のことが、実は当たり前前ではないと気がつく、いのちの感じ方は変わる」という言葉があります。当たり前前ではないことを当たり前前(＝常)だと思ひ込んでいる私に対して、「無常」という仏の智見は、当たり前前のことが、実は当たり前前ではないということ人間に自覚させるのです。さらには、「当たり前

前ではないことを、当たり前前のこととして生きると、いのちについて何も感じず(無感覚)に、いのちについての大切なことにも気づかず(鈍感)に、空っぽのような人生を送っているようなものです。いのちと丁寧に向き合ってほしい」と、阿弥陀仏が私に大切な問いを教え、願ひ続けてくださるのです。

三、生活と私の姿を照らされて生きる

癌を患っていた義父が亡くなる直前に次のような法話をしていました。「癌の闘病をご縁に無常の教えが響いてきます。境内で草取りをしていた時一匹の蟻が目に入りました。「蟻、あなたも今日、生きていますね。私も今、生かされてもらっているよ。当たり前前ではないな」と。無常の道理が聞こえてきて、蟻のいのちも自分のいのちも愛おしく感じるようになりました。しかし、草取りを終えて昼寝をしようと思つたら、私の周りを蠅がブンブン飛び回ります。私は腹が立つて蠅を叩いて殺すんですよ。何の躊躇もなくね。これが私の本性かとあらためて教えられました。あらゆるいのちを愛おしく感じ、尊敬して生きられる者に成つたつもりでいましたが、自分にとつての邪魔者は平気で排除する。これが私なんだと。南無阿弥陀仏の教えから、煩惱具足の凡夫ということがいよいよ教えられてきます」と。

ご紹介した総代さんと義父との出会いが想ひ起こされる時、聞法とは「私こうせねばならない、こうであらねばならない」と人生の答えをもらうことではなく、「私はこうであったか」という本願の教えに照らされた我が身の事実に向き合い、同時に人生の問いをいただく道であるということをお伝えられます。また、積み重ねて、もう聞かなくてもよい自分になるのが聞法ではなく、一度一度の繰り返しの中で、教えられ続けていくことが聞法であるという事を思うのです。

輪番感話

雑行を棄てて本願に帰す

右の御言葉は、二十九歳の親鸞聖人が、法然上人に出遇われた時の感動の御言葉であります。

雑行とは、正行の反対の意味を持つ言葉であります。正行とは仏の私への深い願ひを聞き、思わず知れず、頭が下がったとき、ふと出てくる「南無阿弥陀仏」とお念仏を申すことでもあります。一方、我が身の思いや都合や計らいで行うことを雑行と言われているのではないのでしょうか。文字通り読むと、雑行はダメだから本願に帰して生きて行ったら良いのだと思ひ、考えてしまう。しかしながら、そのことこそが、私が雑行で生きていくことの否めない事実であるように思うのです。果たして、私は日常生活での雑行をやめて生きていけるのでしょうか。より現実的に私生活を照らされるなら、本願に帰することは、雑行でしか生きてない私でありましたと、頷かすにはおれないこととの出遇いであり、雑行を棄てても、棄てても、棄てきれぬ自分でしたという、私の事実にはハッとさせられることとの出遇いであると思ひ寄せられることです。

宗祖は、生涯に亘り、雑行と悪戦苦闘されたのではないのでしょうか。そのことは、宗祖が四十二歳の時に越後から関東へ向かわれる道中、(現、群馬県佐貫の地にて)天災や飢饉に苦しむ民衆を目の当りして、浄土三部経の千部読誦を思ひ立たれ、四、五日で自らの雑行によることであると、我が身に領かれ、読誦を止められ、関東へ向かわれた、と言われます。また、「恵信尼消息」(親鸞聖人の妻である恵信尼公のお手紙)によると、宗祖はそれから十七年後の五十九歳の時、寛喜の大飢饉の際、冷夏による農作物の不作での多くの餓死者に「何も出来ない自分」「何とかしたいという思い」で、高熱の中で『大無量寿経』を讀誦されるも、病臥して八日目の朝、宗祖は「いまはさてあらん(今はこうしよう)」との言葉と共に、その讀誦を打ち切られたと言ふことでもあります。

『歎異抄』第九条での宗祖の御述懐には「仏かねてしるしめして、煩惱具足の凡夫とおおせられたることなれば、他力の悲願は、かくのごときわれらがためなりとしられて、いよいよたのもしくおぼゆるなり。」と、どこまでも、本願に帰して自らの雑行と悪戦苦闘され歩まれた宗祖の御姿がそこにありました。

その故、私自身の生活が雑行でしかない、先刻ご承知である、仏の悲願と共に歩むより他なき身(私自身)であると、頷かされることでもあります。

旭川別院職員紹介

くよろしくお願い申し上げます

井畑 毅俊
(列座)



趣味
アウトドア

出身地:埼玉県

福芳 応彰
(列座)



趣味
アウトドア・旧車・バイク

出身地:福岡県

横井 光
(書記)



趣味
キャンプ・ガーデニング

出身地:深川市

下村 健二
(寺務員)



趣味
音楽鑑賞

出身地:旭川市

経森 由章
(式務主任)



趣味
料理

出身地:滝川市

矢田 浩之
(列座)



趣味
愛犬と遊ぶ

出身地:豊富町

草部 俊裕
(会計・列座)



趣味
ががく

出身地:熊本県

肥田 敏一
(賄掛)



趣味
釣り

出身地:剣淵町

大野 信
(統括主任)



趣味
サウナ

出身地:富良野市

安居 宏淳
(列座)



趣味
ドライブ・旅行

出身地:小平町

水上 量順
(列座)



趣味
日本ハムファンクラブ ランク1

出身地:幌加内町

佐竹恵美子
(賄掛)



趣味
旅行・将棋観戦

出身地:旭川市

印田 良子
(寺務員)



趣味
映画鑑賞

出身地:旭川市

福田 大
(輪番)



趣味
ドライブ・旅行

出身地:京都市

小宮山一貴
(列座)



趣味
映画鑑賞

出身地:新潟県

川村 唯心
(列座)



趣味
旅行

出身地:岩内町

村上佳奈子
(事務)



趣味
スイーツ巡り

出身地:旭川市

長野 幸子
(寺務員)



趣味
パズル

出身地:旭川市

事前予約が必要です

旭川別院窓口にて相談・手続き等をされる際は

*予約のない場合は、状況によりお断りさせていただく場合があります。

【事務手続き・相談の内容】

左記の内容を伝えてくださると対応がスムーズです。

【旭川別院事務休止について】

左記の期間は、事務休止とさせていただきます。

(一)	事務休止(期間)	事由
(一)	十二月三十一日～一月五日	年末年始
(二)	春分の日を含む前後一日(計三日間)	春季彼岸会
(三)	五月第二土曜日・第二日曜日	しんらん誕生会
(四)	七月一日～十日	永代経会
(五)	八月十日～十五日	お盆
(六)	秋分の日を含む前後一日(計三日間)	秋季彼岸会
(七)	十月三十一日～十一月五日	旭川別院報恩講

- ① 納骨堂の見学
- ② 納骨壇契約の手続き
- ③ 納骨壇返却の手続き
- ④ 納骨壇特別措置の手続き
- ⑤ お骨合葬の手続き
- ⑥ 永代経の手続き
- ⑦ 御本尊の申込
- ⑧ 法名・院号法名に係る手続き
- ⑨ 真宗本廟収骨等の本山に係る必要な手続き
- ⑩ 新規門徒登録
- ⑪ 収蔵証明書の発行
- ⑫ その他・手続き内容に係る相談



維持金・納骨堂管理費の納入は、事務休止に関係なく対応可能です

※但し、事務対応時間外及び年末年始を除く

予約/お問合せ先:旭川別院 0166-22-2409 (事務対応時間 9時～16時)

幼稚園型認定こども園 旭川別院附属 大谷さくら幼稚園

旭川別院附属大谷さくら幼稚園便り

北海道の冬を全身で感じた子ども達。ポカポカした日差しに春の訪れを感じています。



寒い日の朝、窓に何かを発見!



「なんだろう? ふしぎなもようだなあ...」



みんなで作った雪のお家でスーパパーティー♥



デッキの上を除雪隊が登場!!!



でんしゃー!

ダイヤモンドみたい!

☆世界のごはんでは、色々な国の料理を味わいましたX



かぼちゃのホットケーキ作り

野菜を育てて収穫していただいたり、食べたい物を相談してクッキングをして、「食べる」事を楽しんだ一年間でした!



「シンガポールランチ」のユーシェン風サラダは、お祝いの時に、思い切り混ぜていただくのだと、栄養士さんが教えてくれました。

5歳児きりん組

沢山の時間を幼稚園で過ごしてきたきりん組の子ども達。やりたい事を話し合っ、楽しんで、挑戦して...自分の考えをしっかりと持つ子どもに育ってくれました。出会いに感謝いたします!



永代経法要のご案内

永代にわたり私にまで伝えられた仏様の教え。教えが伝わるところには、「教えを聞き続けてほしい・相続してほしい」という先達の願いがあります。その願いによって建立された旭川別院本堂で勤まる読経の場に、亡き方をご縁としてあらゆる方々が集い、お念仏の教え・願いをいただく仏事が永代経法要です。皆様のご参拝をお待ち申し上げます。



日時 令和八年七月一日〜十日
午後一時〜二時十五分頃
※午後一時から法話(輪番・列座、三十分程)、その後読経が勤まります。

旭川別院大谷婦人会 総会のお知らせ

日時 四月十八日(土) 午後一時〜三時
内容 総会・法話・茶話会
会場 一階広間
*旭川別院門徒の女性は、全員婦人会員です。是非、お待ちしております。

毎月の例会内容

- 午後一時〜三時 (十一月は報恩講)
- ・お勤め
- ・法話
- ・ビデオ又はお話し
- ・茶話会

公開講演会。 暁天講座のご案内

●公開講演会
・日時 七月十一日(土) 午後六時〜八時
・会場 旭川別院大谷ホール
●暁天講座
・日時 七月十二日(日) 午前七時〜八時頃
・会場 旭川別院本堂
※午前七時からお勤め、その後ご法話です。軽食をご用意しております。
※両日とも聴講無料です。



講師 大谷大学准教授 京都教区専光寺住職 本明 義樹 氏

在家報恩講のお知らせ

○期間 六月一日〜三十日迄(日時につきましては、事前に郵便にてご連絡させていただきます)
○お荘厳(おかざりするもの)
・お華束(白く、あんこが入っていないお餅)・打敷(三角形の金襴の布)・朱ローソク

※この在家報恩講中の月命日のお参りはお休みとさせていただきます。
・六月にご法事等を予定のご門徒様は、五月十日までに別院にご連絡の上、ご調整願います。

退職のごあいさつ

三月末をもって旭川別院を退職することになりました。ご門徒の皆様をはじめ、たくさんの方々にお育て頂いた一年でした。自坊に戻ってからも別院での経験を活かし、頑張っていきたいと思っております。十一年間ありがとうございました。



(列座) 柳澤 智証 さん

うどんが

先日、冬季オリンピックで「りくりゆうペア」事、フィギュアスケートペアで金メダルを獲得し話題を呼びました。ショトプログラムで思わず男性の木原さんが思いもしないミスをしてしまい、金メダルの可能性がなくなり落ち込み泣いていました。しかし翌日のフリーの演技で、見事栄冠を勝ち取りました。その後の某テレビ局のインタビューで、女性の三浦さんが木原さんに「結果のため、金メダルのためでなく、あなたのために滑るよ」と声をかけたそうです。それに対して「お互いのために滑ろう」と心を切り替えたそうです。それは、七年前ペアを組んでお互い支えあいながら、あなたがいたから今日の私がある、信頼関係からなる言葉のように思いました。ここで一杯出し切ることが、何番であつても素晴らしいことである事を教えて下さいました。
私は、結婚して三十年以上になります。がこのペアのように寄り添い、励ましの言葉を妻にだけかけたか恥ずかしくなりします。それは、妻だけでなく回りの方々に対してもいえる事です。逆に寄り添ってくださるご恩も忘れてはならないと思います。この時期、雪解けは厄介な雪と終わりを告げます。しかし解けた下から、大地が顔を出して雪を支えていた事も窺えます。春の訪れと共にこのように厄介な私も、大地のような支えがあるからこそ私がある事を知らされるように思われました。(大野)